

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

Reach Within to Embrace Humanity

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度 国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジ



2011-2012年度 会長 天野清美 幹事 端山佳誠 クラブ会報委員長 亀井敏勝

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

TEL 052-523-1998 FAX 052-531-0727

2011 October 26

■ 2011 ~ 2012 年度方針

「学び、楽しみ、育てようロータリー」

NO.15

例会報告

- 第1920回例会 平成23年10月26日(水) 晴
- 10月は職業奉仕月間・米山月間
- ローターソング 四つのテストのうた

● 出席報告 会員 101 名中 出席70名
(94)

出席率74.47% 修正出席率90.43%
(10月12日分)

● ビジター紹介

Mr. HOMERO Bosnello

(SAO Carlos-Pinhal Brazil R.C.) 外3名

● ニコボックス

「来年2月14日のI.MのPRに伺いました。宜しくお願いします。」

池森由幸名古屋千種ロータリー会長

「佐橋さん、伊藤勝康さん、本日の卓話を楽しみにしております。よろしくお願い致します。」

天野清美会長

「名古屋弁の会、喰人クラブと先週はグルメ週間でした。松原さん、加藤一郎さんそれから上村さん、小南さん大変お世話になりました。」天野清美会長

「当社の建物が名古屋市の歴史建造物資産第1号に認定され、昨日はTV愛知の取材が放映されました。建物は明治40年。」

尾関和成君

「先日次女が結婚式をあげました。これで子供がすべて嫁にいてしまいました。嬉しい事か? さみしい事か? やはり嬉しいことですね。」武田 猛君

「本日初めての担当が回ってきました。お聞き苦しい点があると思いますがよろしくお願いします。」

山田和弘君

本日のニコボックス 6件 24,000円

累 計 116件 1,017,000円

端山幹事報告

▽ 当クラブ行事予定

- ・ 10月26日(水) 例会終了後、理事会。
- ・ 11月2日(水) もみじ例会、18時よりウェスティンナゴヤキャッスル。(お昼の例会はございません。)

天野清美会長挨拶

今日は「男」と「女」の違いと都市伝説についてふれてみたいと思います。

私などは奥さんと日常生活の中で意見が衝突した時、あまりの考え方の違いに「男」と「女」では頭の構造が違うのかなと思った事が一度や二度ではありません。

脳科学的に見ると、男性の脳と女性の脳にはそれぞれ違った特徴があるそうです。そうした違いは一体、いつから生まれてきたか。

男女の脳が違った特徴を持ち始めたのは人類の祖先がアフリカで進化をしていく過程、狩猟採集生活をしてきた時代、男が狩猟中心、女が育児や木の実の採集を中心とした生活を送っていた。その期間はなんと数百万年! とてつもなく長い時間をかけて異なる生活習慣を続けてきたわけですから脳の特徴に違いが出てくるのも当然かも知れません。

たとえば男性が地図を読むのを得意とするのは、男たちは獲物を追って住居から遠く離れる事があった。遠方から家に帰る為には方向感覚が不可欠だったし、又獲った獲物が腐らないよう素早く家に持ち帰るには、道を覚える能力を習得する必要があり、さらに動物の足跡を見てその行動を予測したり、捕まえる為の道具やワナを考える力も身に付けていった。男の脳はこうして進化してきたのです。

一方の女性達は遠出をする事はないので、男のように方角に関する感覚を進化させる必要はあまりなかったわけです。その代わりに果物や木の実を採集する暮らしの中で「実の多い木の周囲には小さな岩が転がっている」といった目印を見つける能力が発達し、細部までしっかりと注意を払える事になり、これは又、子供を育てる上で大切な事でした。

乳児は言葉を話せないので表情や態度から健康かどうかを見極める必要があったからです。

「話をやめない女」というのも男の帰りを待っている間に同じ集落の女達とコミュニケーションをとっていたからだと言われています。女性の脳の特徴はこうして形づくられていきました。

男は競い合い、女は協力し合う傾向があるのも繁殖のメカニズムにより生まれながらに他の雄と競い合う男と、育児や家族を意識する女との差から生まれたと言われています。

又、男は即断即決、女は優柔不断と言われる事がありますが、女性は左右の脳の大きさに差が少ないのに対し、男性は右脳が大きいという構造の違いがあり、右脳は画像処理や空間処理、総合判断などを行う場所で直感的・創造的な役割を果たし、細かい事は気にせず何でもかんでもすぐに決めたがる。

一方の左脳は言語・計算などを司る場所で過去の経験やデータから慎重に結論を導き出そうとする。女性がレストランでのオーダーや買い物に時間がかかるのは脳の働きなのだそうです。

「男」と「女」の違いや興味ある都市伝説はまだありますが時間がなくなってきましたので最後に一言。

「男」は地球人であり「女」は宇宙人と考えれば全てがまるく納まりがつかます。

あるひとつの方向に向かってぶつかり合いながら取り組んでいくところにエネルギーが生まれました。

立ち上がりのCBCの聴取率を調査するため、電通は数十人の学生アルバイトを雇って調べたところ、NHK25%、CBC75%、とCBCの圧勝でした。

経営は1年後には、黒字になりました。

アメリカは多民族国家ですが、合衆国の一体感を培うため、幼稚園のころから朝礼の時、全員が規律し、右手を左胸に置いて、「合衆国の国旗とそれが象徴する国家に対し忠誠します」と忠誠心の誓いをするのです。

これは異業種の集いであるロータリーが全員起立して、「四つのテスト」を斉唱し、一体感を継続しようとする姿と、「忠誠の誓い」をする姿が、重なるように感じられます。

太平洋戦争では、多民族国家が恐ろしいほどまとまりましたね。

昭和29年からテレビも始まり、放送局は経営的にも順調に伸びて、放送局には偏差値の高い学生が集まり始めました。競争率も非常に高いものになりました。視聴率戦争のなか、皮肉な言い方かも知れませんが、偏差値の高い学生が放送局を目指すようになってテレビ番組の質は、落ちてきているように思います。

どの局のバラエティ番組も同じお笑い芸人が出て、内容も似たり寄ったり。それに昔のテレビの再放送が多くなっています。

インターネットの登場、視聴者のライフスタイルの変化、娯楽の多様化など社会構造の変化もありますが、やはり創業期の異業種集団の放ったエネルギーの喪失が大きな原因だと思っています。

●第4回理事会(平成23年10月26日(水) 例会終了後)

- ・諮問委員会の件 (2013~2014年度会長)
- ・ロータリー東日本震災復興基金の件
- ・歴代会長・幹事会開催の件
- ・新地区補助金の件
- ・年末会員家族懇親会の件 (12月7日開催)
- ・その他

●11月度誕生日祝福

会 員

柏木順壺 君(11月1日)
黒田武志 君(11月5日)
中浜明光 君(11月5日)
野田俊幸 君(11月9日)
佐藤公俊 君(11月10日)
上村晋也 君(11月11日)
長谷川通雄 君(11月15日)
柏木博喜 君(11月19日)
川畑 元 君(11月26日)
町田重夫 君(11月27日)
鷲塚貞長 君(11月27日)

ご 夫 人

須賀邦一郎 夫人(11月5日)
吉田正道 夫人(11月6日)
梶浦貞雄 夫人(11月9日)
林 邦司 夫人(11月17日)
本多國泰 夫人(11月21日)
近藤東臣 夫人(11月28日)
野田俊幸 夫人(11月28日)

○このウィクリーは再生紙を使用しております。

卓 話

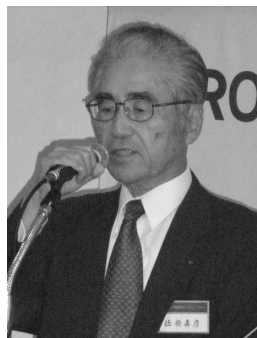


40周年卓話

2005~06年度会長
伊 藤 勝 康

異業種集団の魅力

2002~03年度会長 佐 橋 嘉 彦



ロータリーの魅力のひとつは、異業種集団、異業種の人々の集まりだと思います。異業種集団といえば思い出すことがあります。

CBCは今年、開局60周年を迎えます。昭和26年9月1日午前6時30分、全国最初の民間放送局(ラジオ)として、第1声を出しました。

NHKしかラジオがなかった時代、CMで全収入をまかなう商業放送、民間放送局が果たして経営的に成り立つのか。少なくとも3年間は、赤字だろうと予想されていました。

海のものとも山のものとも分からない民放局の立ち上げに、参加したのは、中学校の先生、大蔵省、今の財務省の役人崩れ、といっっては失礼ですが、ラジオ・アナウンサーに人生をかけた人、演劇青年、NHKから転職した人、会社員、新聞社から来た人、など異業種の集まりでした。

NHKから転職した人をのぞけば、みんな放送には素人ばかり、新しい放送局を立ち上げるんだという情熱だけは、大変なものがあつたようです。

仕事をめぐる意見の違いで、取っ組み合いの喧嘩寸前、という姿がみられました。異業種の人々が、